

沖縄高専

図書館だより

第4号



図書館入口から撮影

目次

図書館トピックス	P 2
ブックハンティングに行ってきました！	P 3
図書館利用回数の多い学生“ヘビーユーザー”との座談会	P 4-6
教員執筆図書紹介	P 7
貸出ランキング&コラム	P 8

■ 各種講習会を開催しました

春の講習会シーズンでは、学年担任団との協力の下、3つ講習会を開催しました。

- ・ 新入生向け：OPAC講習会（検索した後、館内で図書を探すまで）
- ・ 2年生向け：ジャパン・ナレッジを中心とした各種データベースの紹介
- ・ 卒研生向け：CiNiiとJDreamの検索実習&ILL利用法

データベースの利用法などわからないことがありましたら、カウンターへどうぞ！



■ 図書館開放

沖縄高専図書館は一般の方へも開放しており、通常期は土曜日でも開館していますが、残念ながらあまり知られていません。2011年は、オープンキャンパス（7/2）、サマースクール（7/30・31）、高専祭（11/12・13）にも図書館を開放し、特別展示やクイズ、図書館利用証の即時発行サービス等を実施し、合わせて1,147名の来館者がありました。今後も地域に開かれた図書館であるよう努力していきます。平日もちろん利用できますので、お気軽にお越しください。



■ 「やさしい絵本から始める英語多読」講座を開催しました

7月2日（土）、12月17日（土）の2回に渡り、本校図書館において一般市民を対象に、「やさしい絵本から始める英語多読」を開催しました。

本校では、現在約1万2千冊の多読図書を所蔵しています。小学生から60代まで、合わせて82名の幅広い年代の方が参加し、図書館長でもある総合科学科英語担当の新川先生の指導のもと、充実した時間を過ごしました。



■ 蔵書点検を実施しました

沖縄高専図書館には約5万7千冊の本があります。蔵書点検では、資料に貼ってあるバーコードラベルを1点1点ハンディスキャナーで読み取り、蔵書データと照合して、正しい場所にあるか、なくなっている資料はないかを確認します。2011年は、8月22日から26日の5日間、アルバイト2名で蔵書点検を実施した結果、73冊が所在不明でした。校内にポスターを貼っていますので、本を見つけた方は図書館へお願いします。



■ 沖縄県大学図書館協議会の総会を開催

県内大学図書館等8館が加盟する沖縄県大学図書館協議会の平成23年度総会が9月6日に本校で行われました。図書館間の連携・協力を図るよい機会となりました。（加盟館：琉球大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学、沖縄県立看護大学、沖縄国際大学、沖縄女子短期大学、名桜大学、本校）



ブックハンティングに行ってきました！

2011年11月3日（祝）、ジュンク堂書店にてブックハンティングを行いました。

ブックハンティングとは、学生が直接書店へ出向き、「図書館に置いて欲しい本」や「みんなに読んで欲しい本」を学生の視点から選んでもらうという選書ツアーです。学生の意見が図書館の蔵書に直接反映される機会となっています。学生図書委員はクラスで希望があった本の他、書店に並んでいる本から興味のあるものをじっくりと選びました。今回は、小説から専門書まで幅広いジャンルの本「合計234冊」を購入しました。



ブックハンティングに参加して

大城ことね（生物1年）

今年初めてブックハンティングに参加しました。どんなものかと思い不安などがありましたが、説明会でジュンク堂に行つて欲しい本のリストをまとめたり、自分の欲しい本を買えたりすることができると聞いてワクワクしました。実際にジュンク堂に行ってみると、想像したより大きくて欲しい本が沢山あったので、予算内で決めることが難しかったです。けれど、自分が選んだ本が実際に図書館に入荷して、いろんな学生に読まれているのでよかったと思いました。

下園良太（メディア2年）

本が大好きな自分は、ジュンク堂と聞くだけで舞い上がっていました。書店に着くとすぐさま本あさりに夢中になり皆に読んでもらいたい本、自分の買いたい本を探すのにブックハンティングの時間もあっという間に過ぎてしまいました。一時間じゃ短すぎます。それでも、満足のいく本を見つけられたので良かったです。皆さんもたまには、図書館や本屋に足を運んでみて自分のお気に入りの一冊をみつけてみてはいかがでしょうか。

佐久原好秀（生物4年）

自分はブックハンティングに初めて参加しました。ブックハンティングでは限られた時間内で、広範囲の中から興味のある書名を探すことがとても難しかったです。本を選ぶ中でも広い分野の本に触れることができ、「あ～こんな本があるんだ」、「意外と専門分野の本が多い」などと楽しい時間を過ごすことが出来ました。興味のある本を選ぶのは難しかったのですが、良い勉強になりました。

久米剛弘（メディア5年）

特に私が楽しかったのは、クラスで買う本のリクエストを募ったときでした。料理の本やエッセイ、戦記、図鑑、コンピュータ、推理小説など、1つもジャンルが被る本はありませんでした。1人ではこんなに思いつかなかったと思います。図書館にはいろんな人が訪れるので、注目の本だけを集めても、意味が無いのだと感じました。ブックハンティングによって、図書館の多様性が広がるので、これからもこの企画を続けてほしいです。

図書館利用回数の多い学生 “ヘビーユーザー”との座談会

今回はよく図書館を利用してくれる4名の学生と座談会を行いました。本を読むようになったきっかけや図書館の利用法など、普段聞けないようなことを語ってもらい、大いに盛り上がりました。最後には番外編も飛び出しました！きっと参考になりますよ！



前列左から宮越周平、田仲曙光、森岡拓海、比嘉正樹
(情報4年)(情報2年)(生物1年)(専攻科2年)
後列左から多田一風太、糸洲嘉紀、浦崎秀司、喜瀬博哉
(学生会図書委員)

■週に何冊くらいのペースで本を読みますか？ また、毎日の読書時間は？

森岡: 1日5冊。長期休暇などの時は1日に5時間以上読書しています。
全部小説じゃないですよ。中には図鑑などパラパラめくって読むような本もあります。

一同: 5冊!?(絶句!)

田仲: 変な夢を見たりするので(笑) 眠る前に心を落ち着かせるため、毎日30分ほど読んでいます。読書量は多くはありません。

宮越: レポートの文献として週に1、2冊程度借りています。読み切ることは少なく、特に小説は前半だけで飽きることが多いですね(笑)

比嘉: 研究に必要な本を週に2冊ほど。1日30~40分ぐらいは読むようにしています。

■本をよく読むようになったきっかけは何ですか？

森岡: 小学校から気がついたら読んでいました。読書が好きですね。

田仲: 中学3年生の時に、友達に短編小説を勧められてハマったことがきっかけです。

宮越: 沖縄高専図書館のおかげです！こんなに広くてたくさん本があって最高ですね。

比嘉: 小学校の時『アルジャーノンに花束を』という本の影響で読書が好きになりました。最初はひらがなだけで小学校低学年でも読めるんですけど、だんだん漢字とかもでてきて自分で調べながら読んでましたね。高専に来てレポートなどのためにさらに本を読む機会が多くなりました。



『アルジャーノンに花束を』
/ ダニエル・キイス著



■あなたがお気に入りの作家は誰ですか？

森岡: 有川浩、西尾維新、湊かなえ、東野圭吾、東川篤哉などです。他にもいますが、すぐに浮かぶのはこんなところですね。

田仲: 最近読んだ中では金沢伸明。『王様ゲーム』が面白かったです。

宮越: スティーブンキングや重松清、劇団ひとりがお気に入り。作家ではあまり選ばないですね。表紙のデザイン等で選んだりします。

比嘉: 東野圭吾。海堂尊の『チーム・バチスタの栄光』などはお気に入りです。僕も作家では選ばないので…。

■沖縄高専図書館の好きなところは？

森岡: 新聞や雑誌が置いてあり、自由に読めるところです。また、中学の時のように貸出カードに名前を記入するのではなく、自動貸出機で簡単に貸出しができるところが気に入っています。

田仲: 雑誌が多いところですね。よく『トランジスタ技術』など回路系の雑誌を読むのに利用しています。

宮越: 回路など専門的なところから小説などの娯楽系、果ては宗教や哲学までとバリエーションが多いところがいいですね。また、図書館特有の落ち着いた雰囲気が好きです。僕は落ち込むことが多いので、1類の哲学のコーナーによくいきますので見かけたら声を掛けて下さい(笑)

比嘉: 雑誌コーナーの近くにある丸い机のあるところですね。社会科学系の先生と新聞を読みながら意見交換するなど、自分の専門外の人と話す交流の場となっています。まあ、大きな声で話せませんけどね(笑)



■図書館でよく利用するコーナー(分類)はどこですか？

森岡：小説や文庫本、入門書などをよく読みます。

田仲：多読のコーナーが好きですね。またいろんなコーナーに回って入門書とか見るのも楽しいですね。例えば、『マンガでわかる〜』などはわかりやすくよく利用しています。

宮越：1類等の哲学や7類の芸術などのコーナーをよく利用しますね。

比嘉：僕は専門の本や英語、雑誌のコーナーですね。雑誌『The Economist』『News Week』などを読みます。



『The Economist』

■お気に入りの本、役に立った本を教えてください。

森岡：「あらしのよるに」がお気に入りですね。

田仲：プログラミングが苦手なのでC言語の本などが役に立っています。

宮越：レポートでよく使うので『電子回路ハンドブック』ですね。

比嘉：論理的な思考を持つために読んだ『ロジカル・シンキング』が役に立ちます。高学年になるにつれレポート提出が多くなりますが、先生に論理的な思考が全然できていないと指摘されこの本を読むようになりました。1年に2、3回は読み返すようにしています。



『あらしのよるに / きむらゆういち著』



『ロジカル・シンキング：論理的な思考と構成のスキル / 照屋華子、岡田恵子著』

■みんなにお勧めしたい本はありますか？ またその理由を教えてください。

森岡：選べない！自分が読んだ本を全て勧めたいです。全推しですね(笑)

田仲：村上春樹さんの『1Q84』です。内容が非常に深くてだんだん面白くなっていきます。

宮越：斎藤茂太さんの『いい言葉は、いい人生をつくる』です。彼の本はすごく読みやすいのでお勧めです。僕は落ち込みやすいのでよく読んでいます(笑)。

あと、多読では『Big fat cat』シリーズがお勧めです。この本は難しい単語には意味がふっているので、わからなくても読み進めていくことができます。

比嘉：『News Week』や『DAIRY YOMIURI』です。多読もいいんですけど、僕はファンタジーな絵本などよりはニュースが読みたかったので、積極的に英字新聞や洋雑誌などを読んでいます。



『1Q84 / 村上春樹著』



『いい言葉は、いい人生をつくる：いつも私は「言葉の力」を味方してきた / 斎藤茂太著』



『ビッグ・ファット・キャットとマスター・パイ / 山岡真彦、たかしまつ著』



『News Week』



『The DAIRY YOMIURI』

■最後に沖縄高専の学生へ「図書館のこんな使い方」を教えてください。

森脇：県内新聞から県外新聞まであるので読んでほしいです。丸いソファのコーナーに座って雑誌を読んだりするのもいいですね。あとは出会いの場ですか？

田仲：窓際にある赤いソファに座って本を読むとくつろぎます。くつろぎ過ぎて、たまに寝てしまうこともありますけど…。

宮越：僕は書庫2Fの電動書架がお勧めですね。あの書架を開けるときのボタンを押す感じが近未来的で好きなんです。あくまでも2Fですよ！(強調)

比嘉：やはり交流の場としての利用です。先生方や学科などを越えた人たちと交流することでいろんな情報が入ってきます。また、図書館にない本をリクエストすることです。自分が読みたい本はもしかしたら他の人も読みたいんじゃないかと考えてリクエストしています。(実際、比嘉さんは経済から英語まで、幅広いジャンルの本をリクエストしてくれてます)

座談会を終えての感想

多田：図書館の利用回数が多いと言っても、目的は人それぞれ異なっていて面白かったです。1人1人から面白い話が聞き出せたので満足。

喜瀬：先輩方からは勉強やレポートで使える本、後輩からは面白い小説の話などが聞いて、図書館にある本もずいぶん名前が出ていたので、時間がある時に借りて読んでみたいと思いました。特に、英語の勉強方法として、多読の本の代わりに英語の新聞等を読むというのはとても面白いと思いました。初めは難しいかもしれませんが、慣れてくると世界情勢などが知れてとても楽しそうです。みなさんも一度試してみたいはいかがでしょうか？

糸洲：いろんな人の意見や使用用途などが聞いて良い勉強になりました。またこういう機会があれば参加したいです。

浦崎：学年によって考え方が様々だなと感じることが出来ました。今回のことを参考に今後の読書に活かしてみたいと思いました。また機会があればぜひ参加したいです。

2011年1月30日

～番外編～



学生会図書委員で予定していた質問は終わったのですが、それ以外の質問でさらに盛り上がりました！

多田：図書館とは関係ないんですけど…比嘉さんは洋雑誌などをよく利用されていますが、TOEICの点数とか聞いてもいいですか？

比嘉：700点台かな？

一同：おお～すごい！！

多田：どのように勉強していますか？やはり外国新聞を読むことですか？

比嘉：さっきも言った通り、多読の絵本だけでは物足りなかったのので、図書館にある『DAILY YOMIURI』や『The Economist』『News Week』などで世界の動きや経済を読むようにしていました。また雑誌『多聴多読マガジン』でたまに有名な教授などが勉強方法について語るインタビューがあったので、それをメモして自分に合う勉強方法は活用していました。図書館の書庫にバックナンバーがあるので、そこにこもってメモしてましたよ(笑)あと『English Journal』もいいですね。

一同：バックナンバーねえ～

多田：ちゃんと文法とかも勉強してるんですか？

比嘉：う～ん、僕は学習塾や家庭教師でバイトしているのでそこでやる感じですね。やっぱり多読だけでは補えない部分とかがありますからね。編入試験前の先輩方が「もっと文法やとけばよかった」と言っている声をよく聞いていたので、図書館にリクエストして英語の文法の本を入れてもらっていました。編入先の大学だけでなく就職先の企業でもTOEIC～点以上となっていますので、それを意識していました。4年生の時にはこの点数でしたね。

宮越：そういう多田くんも600点以上取っているとか？

多田：僕は、必死に単語を覚えました。

宮越：単語帳とか作って覚えていたんですか？

多田：そうですね。単語帳も作ったりしてますね。TOEICでは重要な単語は何度も出てくるので繰り返して覚えました。何回も出てくる単語はそれだけ重要って事ですからね。

比嘉：単語は「DUO 3.0」で覚えましたよ。社会情勢などの問題も、英語で知りたいと思ったので英字新聞や洋雑誌を読むようにしています。

一同：(メモしはじめる…)

＊身近な先輩からの経験やいろいろなアドバイスに、参加者たちは刺激を受けたようで熱心に耳を傾けていました。学年や学科を越えた様々な交流を今後も広げられたらいいなと思います。貴重な体験、ありがとうございました！



学生会図書委員会委員長のコメント 多田一風太(生物資源工学科3年)

沖縄高専図書館には、様々なジャンルの本が保管されています。コンピュータ、歴史、科学、経済、資格、語学、建築、雑誌など、挙げればきりがありません。中でも最も多いのは、多読図書です。様々なジャンル・レベルの多読図書が大量に並んでいる様子はいつ見ても圧巻です。私は、そんな多読図書をもっと楽しむための語学コーナーが大好きです。多読をサポートする本だけでなく、TOEIC対策や発音など、様々な本があります。閲覧図書の奥から2番目の棚にある830番代の本ならば、ほぼ全て把握しているといっても過言ではありません。

様々な本を手に取り、目を通し、自分に合った本を探してみてください。蔵書数の多い沖縄高専だからこそ、きっとお気に入りの一冊は見つかります。そして皆さんも、自分なりのお気に入りコーナーを探してみてください。読書は必ず、あなたの世界を広げてくれます。

教員執筆図書紹介



図書を出版された先生方ご自身に図書紹介をしていただきました。ここで紹介されている図書は、すべて図書館に所蔵がありますので、是非ご覧ください。

網谷厚子(総合科学科)

『瑠璃行』

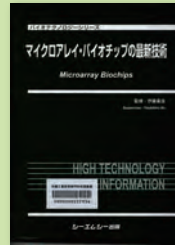
(思潮社)



6年ぶり第7詩集『瑠璃行』(思潮社)を昨年10月に出版しました。国語を教え、文芸部顧問でもあります、何より自分が「実作者」であり続けたいと思っています。常にアンテナを伸ばし、創造的であることは「辛い」こともあります、そうしてしか「生きられない」私です。皆さんにも、是非自分にぴったりの「器」としての表現手段を見つけてもらいたいです。人生は長く、「生産的」に生きるのが楽しいのではないのでしょうか。

田中博(生物資源工学科)

『マイクロレイ・バイオチップの最新技術』(シーエムシー出版)



マイクロレイによる遺伝子の検出技術とバイオチップによる生体高分子(タンパク質等)の検出技術を網羅的に理解することができます。さらに、バイオインフォマティクス技術を組み合わせた最新の検出技術が、どのように研究・臨床へ応用されているのかについても、よく理解できます。

担当部分: 第5章 検出技術 質量分析技術を応用した生体高分子の検出法

担当箇所: PP. 147 - 161

大石敏広(総合科学科)

『規則のパラドックス』

(晃洋書房)



本書は、「言語を規則に従って正しく使用している」ということを示す事実(証拠)は存在しない」という〈規則のパラドックス〉について論じたものです。このパラドックスから、「言語には規則(意味)は存在しない」という主張が出てきます。本書の結論は、「規則に従って正しく言語を使用していることを哲学的に示そうとすると、〈規則のパラドックス〉に陥ってしまう。私たちが言語を実際どのように使用しているかを見ることによって、言語使用の正当性を示そうとする哲学的議論の誤りを確認しなければならない」、です。

『技術者倫理の現在』

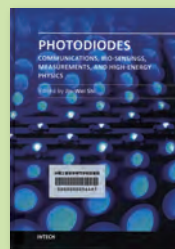
(勁草書房)



本書は、技術者倫理を学ぶ人のための入門書です。技術者倫理は、まだ歴史が浅いということもあり、多くの錯綜した点や曖昧な点を含んでいます。本書では、この錯綜した点や曖昧な点から生じてくる問題点について論じています。本書の特徴は第一に、こうした問題点を、個々ばらばらなものではなく、相互に関連した一つの全体をなすものとして考えているという点です。第二に、これらの問題点を、技術者倫理の外部の観点(倫理学の基礎論的研究であるメタ倫理学の観点)から考察しているという点です。

知念幸勇(情報通信システム工学科)

『Photodiodes - Communications, Bio-Sensings, Measurements and High-Energy Physics』(InTech)



Photodiodeの最新応用技術を紹介した本。光通信、バイオ、UV、高エネルギー光子の各分野における研究論文を掲載。この中の高速データ通信分野において、第3章「The Optimum Link Design Using a Linear PIN-PD for WiMAX RoF Communication」を担当執筆。WiMAX光無線通信における高線形性PIN-PD使用が、変調歪みに起因するRCE(相対コンスタレーションエラー)の低減に有効であることを示した。

名嘉山リサ(総合科学科)

『映画の身体論』

(ミネルヴァ書房)



「映画は如何に『身体』を描いてきたのだろうか。スクリーンが隠蔽/開示(イン・アウト)する身体とは、文化的・社会的に構築される差異としての『身体』に他ならない。性やジェンダーに接続する身体として、或いは国家や政治的メタファーを逆照射する表象/身体として、『身体』が包摂する領域は限りない。」(iv) 本書では、映画と身体をめぐる表象/言説を、戦中の映画から最近の映画までを扱いながら、8つの角度から分析・考察する。

担当部分: 第4章「ブラックプロイテーション映画のアクション・ヒロイン」

著作物寄贈のお願い



図書を出版された教職員の方は、図書館にご寄贈くださいますようお願いいたします。

貸出ランキング BEST30

2011年1月～12月



順位	回数	書名
1	37	キケン
2	35	新 TOEIC テスト 中学英文法 600 点!
	35	TOEIC TEST 英単語スピードマスター
4	34	新 TOEIC TEST 英単語出るところだけ: 3000 語覚えるよりもスコアが伸びる厳選
5	31	LATEX2 ε 美文書作成入門
	31	もやしもん 9
7	28	新 TOEIC TEST 文法・語彙出るところだけ問題集
	28	三匹のおっさん
	28	怪人は夢に舞う
10	27	聞いて覚える英単語キクタン TOEIC Test Score 600
	27	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら
	27	ストーリー・セラー
	27	偽物語
	27	メモリーを消すまで
	27	新編高専の数学

順位	回数	書名
16	26	ココを攻めよ! TOEIC Test 英文法: Part 5,6 必須ポイントを図解
	26	新 TOEIC テスト 英単語スピード記憶術 (メソッド)
	26	新 TOEIC テスト 900 点 TOEFL テスト 100 点への王道
	26	明慶徹の英文法が面白いほどわかる本
20	24	傷物語
	24	塩の街
	24	もやしもん 1
23	23	TOEIC テストリーディング BOX: 500 問集中トレーニング!
	23	速攻の TOEIC テスト文法・ボキャビル 500 問: 1 問 30 秒の瞬発力が身につく!
	23	TOEFL テスト 英単語 3800
	23	中学 3 年間の英語を 10 時間で復習する本
	23	ハリー・ポッターと謎のプリンス
	23	化物語
	23	Grimms' classics
	23	Time noodles and other rakugo tales

私の書棚

教員コラム

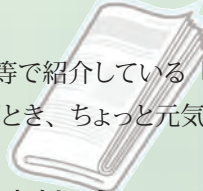
第4回 平山けい (生物資源工学科教員)

「新聞を読もう」

もっと新聞を読みましょう。図書館で専門書での勉強に疲れた日や頭を休めるときに新聞はお勧めです。琉球新報や沖縄タイムスなど地元の新聞はもちろんですが、朝日、毎日、読売、日経、日刊工業など全国版の新聞を積極的に読みましょう。最新の企業のニュース、日本経済や世界の流れを感じましょう。学生の皆さんが将来必ず直面する就職・編入での試験や面接では、新聞が大事な情報源になるはず。実際に手にとって活字を読むと言うのは、ネットやテレビでニュースを見ることとは大分異なります。沖縄高専の新聞コーナーはとっても充実しています。図書館を利用した際には、是非とも新聞コーナーに立ち寄り、新聞を手にとってください。同じニュースでも新聞社によって見方が違うことが多々あります。どのように事実を伝えるのか、どのように読み手が受け取るのか、報道の難しさや大切さはこのあたりにあるのかもしれない。

ところで、沖縄高専図書館にある本で私から皆さんへのお勧めの本は、主事講話等で紹介している「シッタカブッタ」シリーズです。この本は哲学書ではないかと思うくらいです。落ち込んだとき、ちょっと元気が出ないとき、悩んだときに是非読んでみてください。必ず元気がもらえるはずです。

みなさん毎日、新聞を読み、世の中の流れや動きに目を向け、将来に備えて行きましょう。



学外者の方へ

沖縄高専図書館は、一般の方へも開放しています。また、利用証の発行を受ければ、図書の貸出が可能です。「利用証」の発行には身分証(運転免許証等)の提示、「図書館利用願」(図書館カウンターにて配布)への必要事項の記入が必要です。どうぞお気軽にご利用ください。



奥付

「沖縄高専図書館だより」第4号

発行日:平成24年3月

編集・発行:沖縄工業高等専門学校図書館

〒905-2192 沖縄県名護市宇辺野古 905 番地

TEL:0980-55-4037 FAX:0980-55-4067

図書館ホームページ

<http://www.okinawa-ct.ac.jp/toshokan/>